

熊本—神戸線就航で

試きよつから
験採用

天草エアライン

天草エアライン(天草市)は西日本の熊本—神戸線就航に合わせて、天草の伝統染め物「天草更紗」を客室乗務員の制服として試験採用する。採り入れた天草更紗の巻きスカートとブラウスという「特別ユニフォーム」。



中村いすずさん

天草更紗は、室町時代から求道カール船にもたぎれた、



天草更紗の巻きスカートとブラウス。天草市

ドやジヤロなどの西蛮機様の染め物。同市本渡町の染織家中村いすずさん(黒)が、伝統の技術を現代によみがえらせようと復元に情熱を傾けている。

特別ユニフォームの中村さんが製作。ベージュの絹とボリエステルの混合地をアイヤクルミ木の幹など渋味のある「巴」で染め、花や家などを淡く浮かせたりと青モスグリーンに染めるほか、化学染料で染めた巻きスカートも採用。一カ月使って本採用を検討する。

客室乗務員の大塚美さん(三)は「地域の伝統技術を取り入れた制服は、国内の航空会社では珍しい。天草の文化や歴史もどんどんRしたい」と話している。